

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和8年9月10日 R8-3号

「地域の皆様と共に在る学校」

上田市立清明小学校 校長 竹内 仁一

(令和八年度上小校長会会長)



上田市には、小学校 24 校、中学校 11 校があり、各校とも地域と繋がりのある学校、地域に開かれた学校をめざし、活動しています。地域の皆様には日頃より、学校、そして子どもたちが安心・安全のもとに生活が送られるよう、ご尽力いただいております。ありがとうございます。

さて、本校清明小学校においても様々なお支えをいただいております。「清明 安全・安心パトロール隊」通称「安パト隊」の皆様には、毎朝交差点に出て、また子どもたちと一緒に歩いて安全指導をしていただいております。緑のベストを着用し、安全旗をもって指導して頂いております。清明小学校区も広い道、狭く入り組んだ道など、交通量も多く見通しの悪い箇所がいくつもあるのですが、暑い日も寒い日も毎朝指導していただいております。挨拶を交わしたり、「行ってらっしゃい」の応援をいただいたり、「子どもの顔を見て、こっちが元気を頂いているんですよ」といった温かい言葉をいただくこともあります。

清明小学校では、昨年度より「清明小学校に集う、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、学校職員等、『皆』が元気に笑顔になる学校」を目指して、様々な活動に取り組ませていただいております。クラブ活動では、地域の方の協力のもと、全てのクラブに地域の皆様に講師として入っていただきました。また CS ルームを開設し、地域の方に、休み時間に子どもたちと遊ぶ機会を創っていただきました。また、「ボッチャ体験」といった、そこから新たな交流活動が生まれることもありました。さらに「防災教室」として、秋の土曜日を登校日にして、地域の皆様と合同の防災のための活動を開催しました。地震が発生し、清明小学校を避難所として、既に登校している子どもたちと地域の方々が共に避難する訓練、その後様々な防災体験ブースを設けて体験活動をするものです。地域の皆様が先頭に立って、様々なアイディアを出し合い、諸機関と連携し開催していただきました。今年は 2 年目として昨年の経験を活かし、計画準備していただいております。



これらの活動に共通していることは、活動を通して皆の顔が笑顔になるということです。「子どもたちの笑顔」はもちろん、活動を通して、子どもたちや地域の方同士で繋がる「地域の方々の笑顔」があるということです。「共に在る喜び」は繋がりを強くします。例えば子どもたちと地域の皆様との繋がりが強くなることで、日々の生活においても、子どもたちはもちろんのこと、地域の皆様にも安心や喜びを持って生活していただくことができるかもしれません。そんな「集う皆様」が元気になるような学校づくりを一層に進めていきたいと思っております。

活動は異なっても、各校共に地域の皆様に見守りお支えいただいていることが多くあります。そして学校も皆様と共に在りたいと願っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第51回 長野県青少年補導活動推進大会 ～ 伸びよう 伸ばそう 青少年 ～ 報告

県下の青少年補導委員 県内19市の関係者が一堂に会し、日ごろの活動における諸問題や成果を持ち寄り研修を行い、青少年補導活動の一層の発展に資することを目的に、7月9日(木) 塩尻市民会館レザンホールにて大会が開催されました。



主催：県青少年補導委員会連絡協議会・県青少年補導センター連絡協議会・県子ども・若者育成支援推進本部・塩尻市
上田市からは、こども安全安心見守り委員9名と少年育成センター事務局6名計15名が大会に参加しました。本会からは、宮下会長が大会長として、開会式で大会開催のあいさつを致しました。また、上田市の見守り委員の昨年度の活動報告をA4の紙面にまとめ、全県の補導委員の皆さんへ発信いたしました。

演題 **子どもとのコミュニケーションを考える**
講師 **信州大学学術研究院・教育系 教授 上村 恵津子 氏**



「子どもとのコミュニケーション」は、おしゃべりはするんだけど、本当の気持ちを語っていること

とか少ないこともある。でも、あと逆に全然、話してくれないのに、本音を語り、素晴らしい意見を返してくれることもある。というように不安定な中にある。今回は、子どものレジリエンス(回復力)を育くむことや感情のコントロールをどうするかみたいなお話します。

本音を聞き出す事が大切という例として、中学校2年生の不登校の女の子をどうとらえるか考えて見ようと思います。私との面接で彼女はこう語った。

「休み時間にクラスの女の子のお友達はみんなアイドルが好きで、アイドルの話をします。自分はアイドルになんか全く興味がない。しかし、アイドルの話ができないと仲間に入れない。一生懸命アイドルのことを勉強して学校に行き、好きでもないのにアイドルの話をするようにしていた。もう疲れちゃった。そうしていると、言いたいことは、自分の母親にしか言えなくなり、母親に当たり散らしてしまうようになった。そんな自分が大嫌いだって」と言っていました。好きでもないのにアイドルのことを勉強するって。そりゃ切ないねーなんて感じてした。このように、本音が語れるような関係を構築していく事が大切だと思います。

続いて、〇〇〇〇を考えるワークショップを行いました。「私が子供と話したいことは〇〇〇〇です。」「私が子供と話したい時、子供は〇〇〇〇です。」「私が子供と話するとき、工夫していることは〇〇〇〇です。」といくつかお題を出して参加者に「〇〇〇〇」の部分を考えてもらいました。このワークショップで工夫し

ていることなどに、「子どもとのコミュニケーション」の中で育みたい方向が出てくるのです。

レジリエンス(回復力)を育むために、

- 1 感情のコントロール
- 2 自己肯定感(自己効力感)
- 3 楽観性
- 4 人間関係



この4つの側面を子どもの中に育むように〇〇〇〇を考えることがとても大切になるのです。

また、切れる子の定義をお話していただきました。心の中にはネガティブな感情が必ずある。けれど、それは外には出てこない。なぜならば、大人の期待にこたえようとするから、大人が喜ぶ表情しか出さないわけですね。そうすると、ネガティブな感情の言語化がどんどん苦手になっていく。そうすると、感情の乖離が起きて、本当はあるはずのネガティブな感情がわからなくなってしまい、気づかなくなっていくのです。けれど、気づかなくなったとしても、心の中ではネガティブな気持ちは溜まっていくわけですね。その溜める一方のネガティブがどんどん溜まっていくようになる。そしてある日、突然、コップのお水(ネガティブの感情)が溢れてしまって爆発する。それが切れるってということだと考えればよい。」と説明してくださっています。

また、「言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション、2つのコミュニケーションがあって、どちらが伝わりやすいかっていうと圧倒的に非言語コミュニケーションの方が伝わりやすいのです。だから、言語コミュニケーションを意図的に使って、会話をしていく事が大切になってくる。」

この講演を通して、「私達が、日々街頭での見守り活動で会える子ども達に対して、かける声かけも子どもとのコミュニケーションのレジリエンスを意識して、声かけが出来るようにしたいものである。」と感じました。

～ 安全安心見守り委員の活動紹介② ～

夜間巡回

7月3日(金) 20:00-20:30

市民の文化交流拠点 サントミュージゼの施設・芝生広場～アリオ上田店周辺と、上田城跡公園やぐら下多目的広場・上田駅前周辺を夜間巡回しました。



今回は、神科 AB 班・中央 AB 班・神川 AB 班の皆さんに御協力をいただき、

「青少年の被害・非行防止全国強調月間」の活動の一環として夜間に移動巡回を実施しました。

本年度は、市内の高校が、当日、文化祭の前夜祭ということで、多くの高校生が市内に出ていました。サントミュージゼの芝生でくつろいでいるカップルや友達と遊んでいた若者に声をかけ、「気を付けて、帰ってください」と声がけると「はい」という元気な返事が返ってきました。

また、当日、防犯協会の駅前パトロールの出発式があり、上田警察署生活安全課の方々が、アリオと駅前を同時に巡回活動をしておりました。

サントミュージゼの駐車場では、バイクに乗った青少年が大きな音を立てて通行するため、周りの民家や利用者の妨げになるという苦情を警備員の方からお聞きしました。

アリオ二階のフードコートでは、高校生が多数、食事をしていました。皆、文化祭後にグループで食事に来たり、おしゃべりしたりする姿が多く見られました。

メッセージ入りのポケットティッシュを配りながら、文化祭の様子や帰宅時間の確認等の声かけと見守りの活動を行いました。



理事会② 組織体制の見直し案検討

7月16日(木) 午後6:30より市役所2階202会議室で第二回理事会を開催しました。議題は、「こども安全安心見守り委員会の組織体制の見直しの詳細」と「10月1日(木)に予定されている全体研修会の講師について」協議をしました。

見直しの詳細について事務局から現行の自治会推薦125名で構成されている委員、理事の皆

さんからいただいたご意見を見直し案に反映しながら直接、団体・地区、公募で70人程度にする案が示されました。1小学校区1班3人を基準として、地域の実情を考慮して、2班編成にする方針や地域のまとまりを考慮する方法など、いくつか提案されました。理事の皆さんからは、組織体制の見直しに賛成の方が多く見られました。事務局案にいくつかの質疑がありましたが、大方、賛成して頂き、事務局に一任していただく方向になりました。これから直接及び公募の募集、団体や地域への協力要請を行っていきます。

防犯協会主催 駅前パトロール

8月21日(金) 19:30-20:20



上田市防犯協会が実施している「上田駅前周辺の週末パトロール」の一環として、こども

安全安心見守り委員会が協力団体として参加しました。当委員会は、南部 AB 班及び東部 AB 班の皆さんと小、中学校の校長先生と先生方にも参加いただきました。市役所が出発点となり、お城口コースとアリオコースに分かれて巡回活動を実施しました。巡回に参加した見守り委員さんの感想をいくつかご紹介します。

1) お城口コース

○上田駅前方面を巡回させていただきました。すれ違う高校生らしき学生さん達とあいさつを交わしましたが、特に問題は感じませんでした。定期的に巡回しを繰り返している成果だと感じました。これからは警察の方々と協力して防犯に努めていけたらと思います。

○金曜日の夜、大勢の方が袋町や上田駅前に飲みにきていたりしている様子を見られた。高校生や学生など若者が闊歩する姿は少なく落ち着いていた。

2) アリオコース

○ファミリーマート前で高校生とおぼしき2人に出会い、あいさつしたところ、しっかりした返事が返ってきました。治安としてはとても良いのだと感じました。

○以前のように夜遊びをしている心配な若者の数は多くないでしょうが続けることに意味があると感じました。

～ ～中学校区地域見守り懇談会の報告 ～ ～

「地域の子は、地域で見守りたいよね」

・「見守り隊の皆さんと連携したい」

7月13日(月) 武石地域懇談会

7月23日(木) 第三中学校地域懇談会

毎月 第三日曜日は
「家庭の日」です



武石地域では、夏休み前の7月13日(月)に青少年健全育成懇談会と一緒に、地域見守り懇談会を開催しました。武石小学

校・依田窪南部中学校の先生と校長先生、地域の駐在所の警察官や青少年健全育成会長さんにも参加いただき、地域で見守り活動をどの様に進めたらよいかを考えました。また、夏休みの過ごし方・家庭地域で子どもとの関わり方について皆さんで意見を交わしました。

<話し合われたこと>

「小学校では、地域の大人との交流が多くなっている。夏休みの行事を楽しみしている子ども達が多く見られる。」

「中学生で気になる事は、自分に自信が持てないで、友達が出来ないといった悩みで、不登校になる生徒が増えてきている。」

「各家庭での子どもに対して愛情を持って接することが大事である。中学を卒業した後、職業を持っていない若者が増えてきている。武石地域でも増えてきている。」

「家庭内で解決できたことが、現在は、手助けを必要とする家庭が多くなってきている。」

「バイクで暴走する若者が武石地域にもいる。地域の子どもの現状を把握して見守りたい。」

第三中学校地域では、7月23日(木)に第三中学校会議室において、15名で懇談会を行いました。

「今年から、ビッグ裏の細い道から袋町までの通りの巡回も行った。染谷高校の生徒が大勢通行している状況を見ることが出来た。声かけもしている。」

「朝、あいさつ運動で、北小前で声かけを行っているが、あいさつは、北小、三中生は、良くできるようである。校長先生が率先して、指導してる姿に感動している。」

「北小区も西小区も、朝、市街地を抜け道として通り抜ける車が増えている。交通安全に気を付けてほしいと思って見ている。」

「部活の地域展開が新人戦から本格的になってくる。中学校の放課後の姿が変わってくるその見極めをしていかないといけない。学校に児童・生徒がいなくなってくる。下校する中学生も増加してくることを予想していくことが必要である。」

「子ども達が見守り委員の認識を上げて来てくれているのがうれしい。朝、挨拶をしているので、オレンジベストを着ているという安心感から返事を返してくれる子ども達が増えてきている。小学校の見守り隊の皆さんと連携していきたい。」



お知らせ 掲示板

7月-11月 環境浄化(環境チェック)活動期間

9/28(月) 少年育成センター活動(第3回)「学童クラブ・児童センター」<川西・内村・丸子中央・特別>

10/1(木) 理事会<中央公民館>

・全体研修会・早坂 淳先生(長野大学教授)講演会<文化会館>

10月中旬 少年育成センター活動(第4回) <中塩田・西塩田・特別>

11/2(月)『子ども・若者育成支援強調月間』『有害環境浄化活動強化月間』

上田駅前啓発活動 <県上田地域振興局・見守り委員会役員・少年育成センター事務局>

11/14(土) 青少年健全育成県民大会 安曇野市 <希望委員>

11月中旬 少年育成センター活動(第5回) <依田・長瀬・塩川・長・傍陽・本原・特別>

11/26(木) 地区会長・班長会<中央公民館>

* 見守り委員会の研修視察を秋に予定しています。詳細が決まりましたら別途お知らせします。

【お知らせ】 令和 9 年度申し込みについて

8 月末に見守り委員の皆さんへ来期の活動継続をお願いする依頼状（意向調査）を事務局からお送りしました。

「今から来年のことを言われても分からない」という方もいらっしゃるかと思います。申し込みは 9 月以降も引き続き受け付けていますので、同じ班の委員さん同士や地区の皆さんとも相談して、今後の活動の中で「しばらく続けてみてもいいかな」「こどもや若者のためになるなら」「もう 1 回だけなら」と少しでも思っていたら、ぜひ申し込みをご検討ください。

来年度は公募や団体・地域から新たに仲間入りする方も見込めます。「先輩見守り委員」として引き続きご活躍いただきたいと思います。

一緒に活動しましょう！



オレンジベスト見守り情報 かわら版

【城下地区 A 班】

（ダイレックス→創造館→長池公園→ダイレックス）

★7/15（水）19:30-20:00 城下地区 A 班の 5 回目の巡回を行いました。今回は以前、雨天のため車で巡回終了となった箇所を巡回いたしました。夏休み前で、夜間外出が増える時期を選びました。本日は日中より気温が高く、夜になっても蒸し暑いせいか、人出はほとんどありませんでした。ただ、創造館近所の小学生が兄弟げんかをして、頭を冷やしに子供 2 人公園で遊んでいました。遅い時間のため気を付けて帰るよう声かけいたしました。また、公園でトレーニングされている女性が 1 人おり、暗いので気をつけるよう声掛けいたしました。

【川辺泉田地区 B 班 合同巡回活動】

（しまむら上田築地店→カーランド現金屋→パーラーパピデ上田西店→クスリのアオキ上田原店→蔦屋書店上田しおだ野店→エディオンしおだ野店→平安堂しおだ野店→綿半スーパーセンター）

（※同行した自治会長・防犯部長さんより）

★7/17（金）16:30-17:40 関係する皆さんのおかげで犯罪もなく、大変参考になりました。今日巡回した店舗はお客さんが少なめでしたが、このような活動は大切だと思います。学校の夏休み前で、巡回が早めの時間帯だったことから、穏やかな感じを受けました。休みに入ってからどう変化するか不安もあります。

【北部地区 A・B 班・西部地区 A・C 班】

（三中地域見守り懇談会）★7/23（木）16:00-17:00

- ・朝、あいさつ運動で、北小前で声かけを行っているが、あいさつは、北小・三中生は、良くてきくようである。校長先生が率先して、指導している姿に感動した。
- ・昨年度は、国道沿いのツルヤ・ドラッグストアなどを回っていたが、今年から、ビッグの裏の細い道から袋町までの通りの巡回も行った。染谷高校の生徒が大勢と通行している状況を見ることが出来ました。
- ・来年度は部活の地域展開が新人戦から本格的になってくる。中学校の放課後の姿が変わってくる。その見極めをしていかないといけない。
- ・子ども達が見守り委員の認識を上げてきてくれているのがうれしい。朝、挨拶しているのも、オレンジベストを着ているという安心感から返事を返してくれる子ども達が増えてきている。

【西部地区 C 班】

（西小学校正門→西小学校下駄箱前）

★6/26（金）7:30-8:15 西小学校で朝のあいさつ運動をしました。雨降りの中、所定の駐車場以外に停めて子どもを降ろす親がいて、「親のモラルが…」と協力者が嘆いていたことが印象に残りました。子ども達はおおむね元気よく挨拶をかわしてくれました。

オレンジベスト見守り情報 かわら版 No.5 6～8月の見守り活動の様子

こども安全安心見守り委員の皆さん、いつも活動にご協力いただきありがとうございます。

8月は猛暑（25日に38.2℃）、9月は台風や前線の活発化など、天候が大きく変化します。無理のない範囲での活動をお願い申し上げます。

【南部地区 A 班】

（本町→鷹匠町→パレオ 3F・1F→駐車場 1F・4F→上田駅→温泉口トイレ→アリオ 2F→1F ゲームコーナー→屋外駐輪場）

★7/16（木）15:30-16:50 本日は暑い日になりました。暑いこともあるのか高校生 10 人に挨拶しましたが、2 人だけかえしてくれました。アリオの 2F 喫煙所で、高校生がタバコを吸っているとの事、お客様からの情報です。座って吸っているので一見しても見えない事があるとの事。アリオの案内の方に、その旨伝えてお願いしてきました。外に止めてあるバイクの件、ナンバープレートの細工をしてあるバイクがありましたので報告します。

（事務局から）市民参加・協働推進課に派遣されている県警からの派遣職員を通じて上田警察署へ情報共有しました。

【西塩田地区】

（塩田西小学校→創造館庭→エーコープ駐車場→塩田中学校）

★6/28（日）9:00-11:00 塩田西小学校ではいつもの剣道の練習が、体育館で行われていました。上田創造館にはこのメンバーでは初めて行きました。芝の上でサッカーをしている少年 5 人ほどいました。遊具の所では、小学校前の子供たちが 4・5 家族遊んでいました。通り過ぎるときに挨拶がてら話をし、自分たちの組織や役割について話をしました。親御さんのこわばっていた顔が和らぎ何だか納得したような感じでその場を過ぎました。

【塩川地区】

（大屋駅→かわまち公園グラウンド→ほたるの里→塩川小学校）

★8/12（水）19:00-20:00 大屋駅にて約 30 分見守り。上田方面より下車する人が 2 回で各 20 名位でしたが、高校生と思われる人は約半数でした。乗車する者は無かったようです。トラブルも無く、迎えの車で高校生は帰りました。公園はライトで明るかったですが、駐車場は 17 時で閉まるので犬を連れた人のみが歩いていました。子供はいませんでした。塩川小校庭は真っ暗で、花火で遊んでいるような子供はいませんでした。

【丸子中央地区 B 班】

（DCM 丸子店駐車場→DCM 店舗周辺→ツルヤ駐車場、店舗周辺→ツルヤ裏の細い道→DCM 丸子店駐車場）

★7/31（金）17:30-18:00 6 月の街頭活動はダブル台風による荒天が予想されたため、当日中止としました。大分暑い日でしたが夏休み中の週末とあって大変人出は多かったですが、大人の買い物客が大半で子供たちだけで行動している様子は伺えませんでした。子供たちの行動に合わせての時間帯や場所を検討しましたが、メンバーの勤めの関係で時間の変更は難しく、この時間帯で人出の多い場所を考えると場所的にもここでいいのではないかとという事で、これからも同じに実施していく事としました。

【長・傍陽・本原地区合同】

（真田まつり会場（真田運動公園グラウンド）及び公園内）

★8/1（土）15:50-20:30 家族で過ごしている人が多く、特に問題の様子はなかった。巡視では、ルールやマナーに逸脱した行動はほぼ見られなかった。昨年より人出が多く、売店も大変賑わっていた。少人数でたむろする様子も見られず祭りを楽しんでいた。大きなごみの専用のコンテナがあったので、ごみの散乱、置き残し等が少なく、モラルの良い祭りであった。巡視は 1 回目 6 人、2 回目 4 人で行った。

【長瀬地区】（依田橋）

（※同行した自治会長さんより）

★7/9（木）15:30-16:30 下校時に子供達の様子を見ました。こちらから声をかける前に元気に子供達から「こんにちは」の声をかけてきました。恥ずかしがらずあいさつをして安心しました。集団下校していないので、親が近くまで来ていますが交通事故には十分注意してほしいです。

（事務局から）武石地域では 8 月 1 日（土）に行われた武石地域青少年健全育成事業 自然ふれあい体験「魚のつかみ取り」の会場で、委員さんに見守り活動を行っていただきました。今年も活動いただきありがとうございました。